

報! 連載100回突破記念特集
『個展を開こう!』部門

この部門では、本誌内で念願の個展を開くことを目指して様々なコンセプトの作品を応募いただきました。見事、個展を開くことができたのはどの作品でしょうか?! 選考を勝ち抜いた応募者の作品をそれぞれ5枚紹介します。

※ \ はクリス・ハザード氏のコメントです。 ※ 当部門でのクリス・ハザード氏のコメントは、各作品を連作として、応募者ごとに総括したものです。

最終選考作品

ダイ
「見事な作品ですね。夜景の作品も、他の作品に統一して収めてある『雲』にもっと焦点を当てて写せていたら、コンセプトとしてもっと良かったですね」



「Rainbow Clouds」(ゴールドコーストにて。虹色の雲が出来ていたので激写。ビルとの構成が好きです)



「Miracle Clouds」(ブルームにて。月への階段よりも数段と綺麗でどこか不思議な夕焼けに、奇跡的に遭遇しました)



「諸行無常」(タスマニアにて。花畑に生える樹が微笑ましく見えます)



「Night City」(メルボルンにて。この夜景もオーストラリアらしいモダンとゴシックがいい感じですよ)



「The Setting Sun」(ドニーブルックにて。パース近郊の小さな街で空全体が包み込まれる夕日で感動しました)

最終選考作品

ゴリ「WA (ウェスタン・オーストラリア)」
「様々な土地の魅力を非常にうまく捕えています」



「Sunset Pinnacles」



「Night view from South Perth」



「Sunday morning in Freo」



「カリジニ国立公園」(すこいところでした)



「モンキーマイア」

最終選考作品

sleepless sleepwalker (アジアの一都市を歩きました。日本でも見ることのあるような光景が、なんだか新鮮に見えました)
「他国の人々のライフスタイルや、その人々によって作られた街の様子の断片が上手に収められていて良いですね」



「雑踏 1」



「雑踏 2」



「雑踏 3」



「雑踏 4」



「雑踏 5」

最終選考作品

杉山 祐也
「Brilliant! それぞれの被写体の情景をうまく切り取っていますね」



「海辺のブランコ」(誰も居ない青い海で、海を前にブランコがありました。とてもロマンチックなシーンです)



「スローな時間」(グレート・バリア・リーフ内陸部で、夕日の沈む頃が、とてもやわらかく、ゆっくりと感じました)



「行きたい方へ行こう」(QLD キュランダ熱帯雨林にて、マイナスイオンたっぷりの癒しの場所でした)



「旅の出会い」(QLD キュランダ鉄道にて、旅で知り合った友達との小旅行)



「そこに在るがままに」(ファームへ向かう最中のオーストラリアの広さ、木の存在感を感じました)

最終選考作品

Norihiko Kimura 「statue」(オーストラリアで見つけた銅像を集めてみました)
「おもしろいコンセプトですね。構図も良く、街に点在する銅像の魅力が伝わってきます」

